

令和元年度第1回市政モニターアンケート
「富士市の文化振興」について

●市政モニターの数 100人(男性38人、女性62人) 回答者数100人(回答率100%)
※各回答は、小数点以下第2位で四捨五入してあるため、合計が100%にならない場合があります。

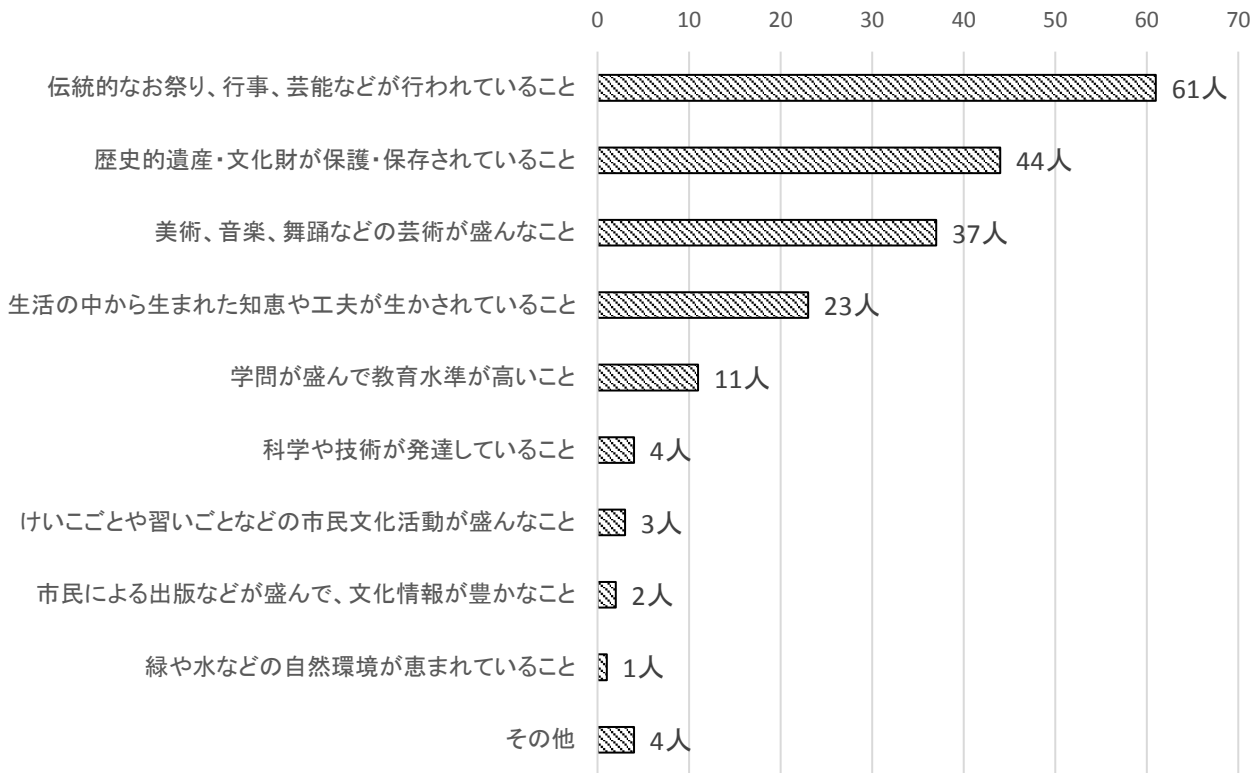
●実施期間 令和元年6月24日～7月12日

■1 文化活動について

問1 あなたは、「文化」という言葉に対して、どのようなイメージをお持ちですか。
次の中からあなたの考えに近いものを2つ以内で選んでください。

回答者数 100人

1 伝統的なお祭り、行事、芸能などが行われていること	61人	61.0%
3 歴史的遺産・文化財が保護・保存されていること	44人	44.0%
2 美術、音楽、舞踊などの芸術が盛んなこと	37人	37.0%
4 生活の中から生まれた知恵や工夫が生かされていること	23人	23.0%
6 学問が盛んで教育水準が高いこと	11人	11.0%
8 科学や技術が発達していること	4人	4.0%
7 けいごとや習いごとなどの市民文化活動が盛んなこと	3人	3.0%
9 市民による出版などが盛んで、文化情報が豊かなこと	2人	2.0%
5 緑や水などの自然環境が恵まれていること	1人	1.0%
10 その他	4人	4.0%



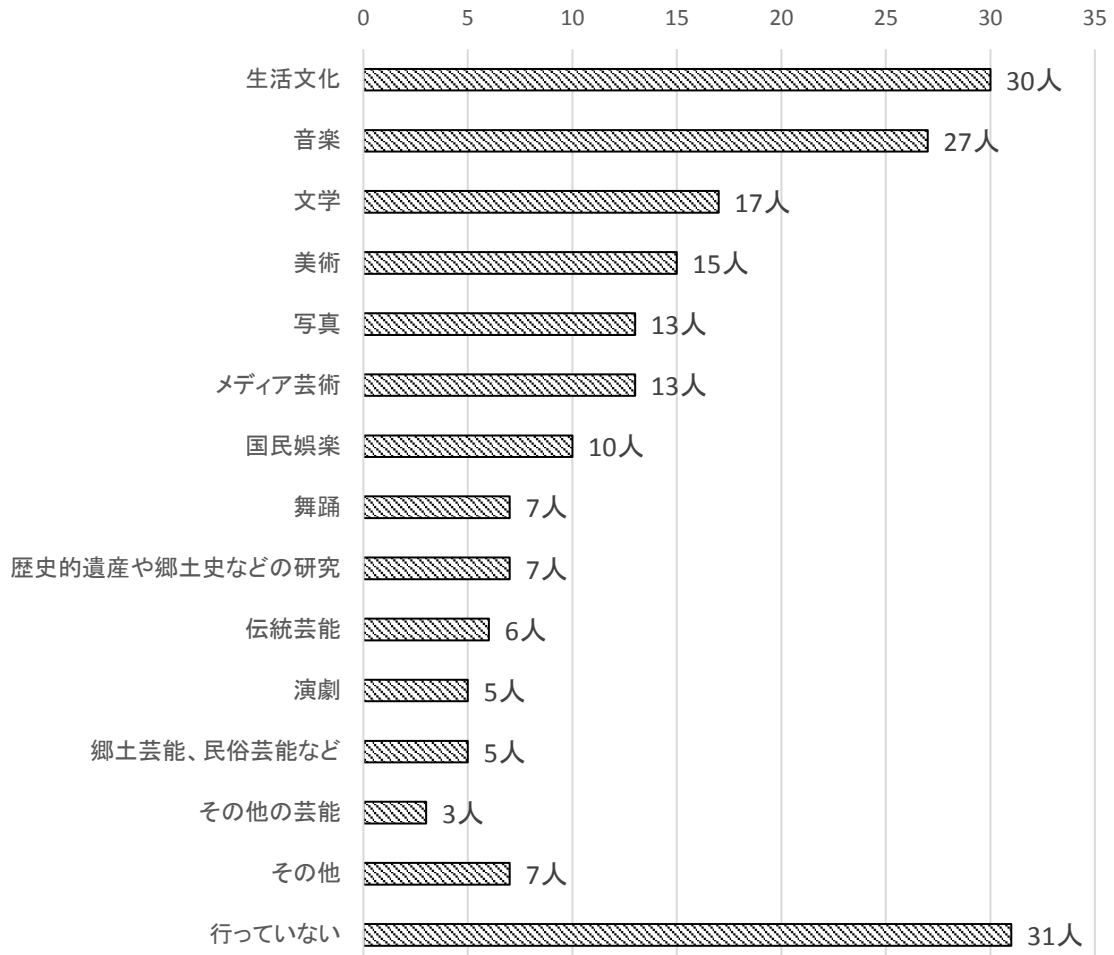
●その他

- ・ 景観・風景・景色
- ・ 大人や高齢者もスポーツや観戦を楽しむ習慣があること
- ・ 思索、概念など自分の思ったことや他人の意見を語ったり、読んだり、感じたりできること
- ・ 文化とは、過去に紡がれてきた人々の思いや行動がきちんと今に伝わり、根ざしていることだと思う。富士における文化は、「市民活動」ではないかと思う。きり交流会議の発祥の元になった、お仕着せでない市民発議の豊かな子育て支援、相互扶助、人権活動、食育活動、政治参加への活動などが、富士市政の礎となり、富士市の議会の判断基準にもなっていると思う。こういった活動を、尊び、守っていくことが、薄っぺらではない、真に文化的な富士市であると胸を張れる文化であり歴史だと思う

問2 あなたが、現在行っている文化活動は何ですか。次の中から当てはまるものを全て選んでください。

回答者数 100人

10 生活文化(茶道、華道、料理、着つけ、パッチワークなど)	30人	30.0%
2 音楽	27人	27.0%
1 文学(小説、随筆、詩、短歌、俳句、川柳、児童文学など)	17人	17.0%
3 美術(絵画、書道、彫塑、陶芸、工芸、染織など)	15人	15.0%
4 写真	13人	13.0%
7 メディア芸術(映画、漫画、アニメーション、コンピューター等を利用した芸術など)	13人	13.0%
11 国民娯楽(囲碁、将棋、盆栽など)	10人	10.0%
6 舞踊(日本舞踊・ダンスなど)	7人	7.0%
12 歴史的遺産や郷土史などの研究	7人	7.0%
8 伝統芸能(雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など)	6人	6.0%
5 演劇	5人	5.0%
13 郷土芸能、民俗芸能など	5人	5.0%
9 その他の芸能(講談、落語、浪曲、漫才、詩吟など)	3人	3.0%
14 その他	7人	7.0%
15 行っていない	31人	31.0%



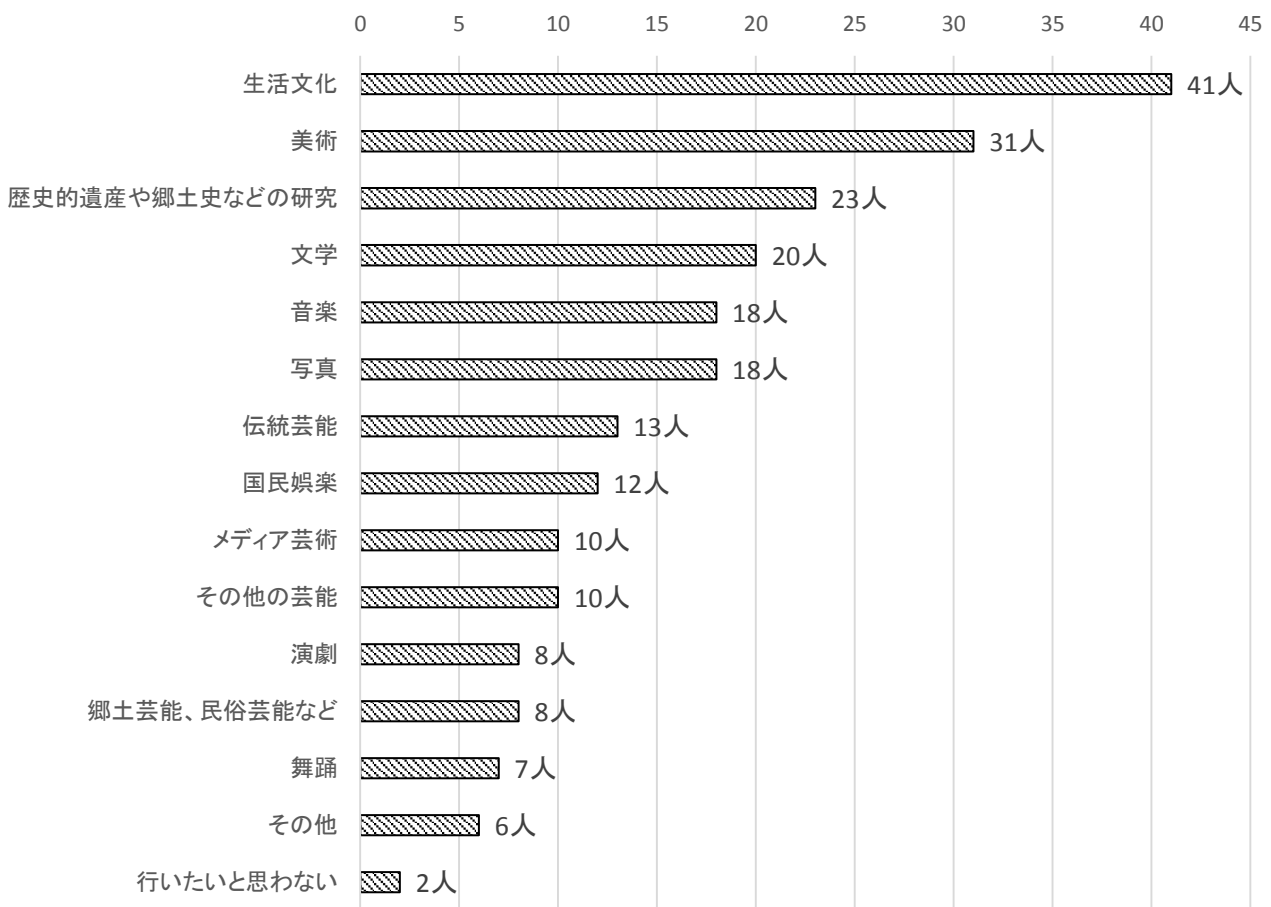
●その他

- ・ 音楽、美術の鑑賞
- ・ 英検や大学進学のための勉強
- ・ 興味をもった演題への講演会への出席
- ・ 園芸、手芸
- ・ おもちゃ病院
- ・ スポーツ文化
- ・ 子どものよさこい活動への随行

問3 あなたが、今後新たに行ってみたい文化活動は何ですか。次の中から当てはまるものを全て選んでください。

回答者数 100人

10 生活文化(茶道、華道、料理、着つけ、パッチワークなど)	41人	41.0%
3 美術(絵画、書道、彫塑、陶芸、工芸、染織など)	31人	31.0%
12 歴史的遺産や郷土史などの研究	23人	23.0%
1 文学(小説、随筆、詩、短歌、俳句、川柳、児童文学など)	20人	20.0%
2 音楽	18人	18.0%
4 写真	18人	18.0%
8 伝統芸能(雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など)	13人	13.0%
11 国民娯楽(囲碁、将棋、盆栽など)	12人	12.0%
7 メディア芸術(映画、漫画、アニメーション、コンピューター等を利用した芸術など)	10人	10.0%
9 その他の芸能(講談、落語、浪曲、漫才、詩吟など)	10人	10.0%
5 演劇	8人	8.0%
13 郷土芸能、民俗芸能など	8人	8.0%
6 舞踊(日本舞踊・ダンスなど)	7人	7.0%
14 その他	6人	6.0%
15 行いたいと思わない	2人	2.0%



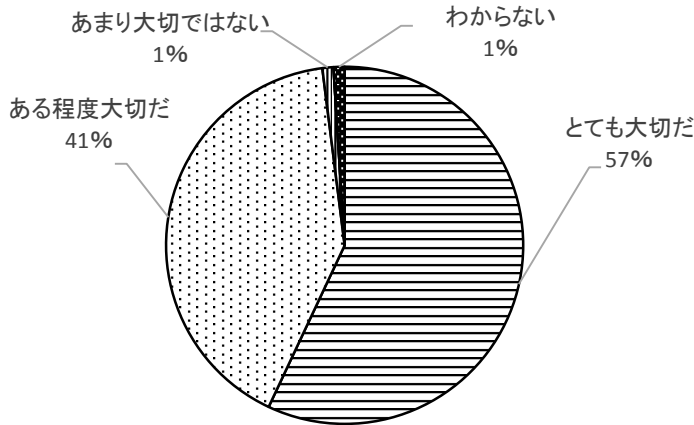
●その他

- ・紙すき(和紙)作業
- ・スポーツ観戦
- ・外国語の習得
- ・無料の大学進学塾に行きたい
- ・郷土芸能がない地区でも、新しい地区芸能ができないか考えたい
- ・以前かぐや姫ミュージアムで展示されていた、富士の発掘物を発掘地域ごとにまとめ、解説してくれたものがとてもおもしろかったのもっと知りたいし、伝えたいと思った。常設展であればよい。各時代ごとに、いろいろなできごとが富士市内で起こっていて、その歴史をさらりと伝えられる人になれば楽しいだろうと思う。あと地域の太鼓や、地域に根差した踊り、とても盛んなよさこいの鑑賞をもっとしたい。また、運動会で子どもたちがよさこいを習って踊るのを、やめさせないでほしい。先生が大変なら、よさこいチームの出前授業でフォローできる仕組みをつくってあげてほしい。よさこいを踊れる子は、よさこいを見に行くし、祭りを盛り上げてくれると思う。せつかく湧き上がった文化の芽を摘まないで大切に育てるのが、まちの役割なのではないかと思う

問4 あなたは、文化活動は大切だと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 100人

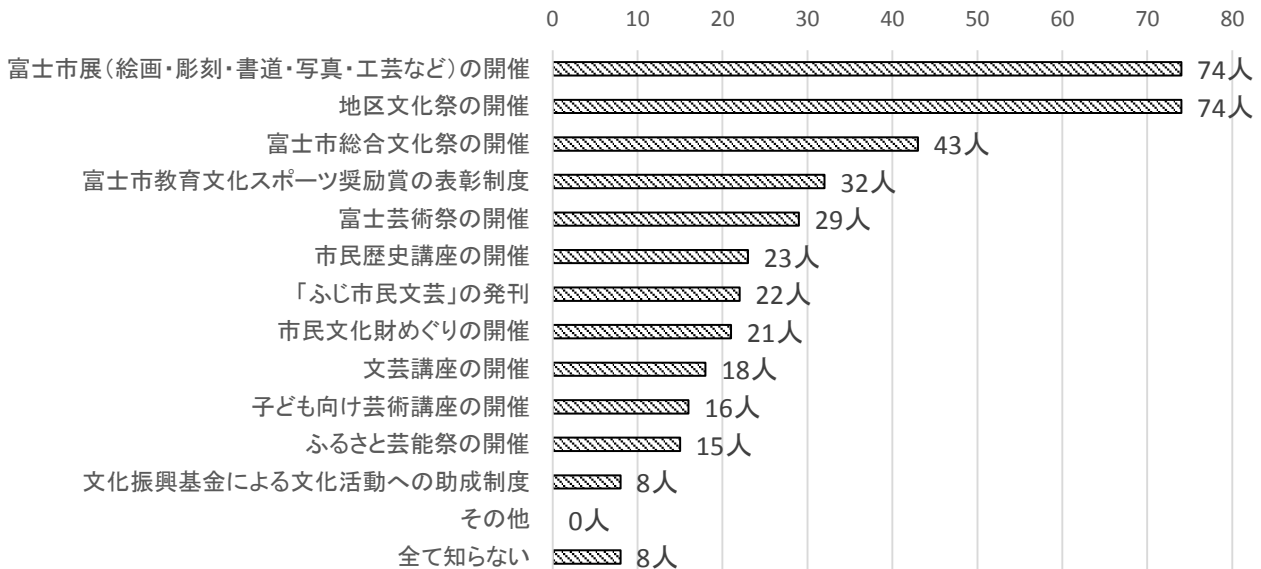
1 とても大切だ	57人	57.0%
2 ある程度大切だ	41人	41.0%
3 あまり大切ではない	1人	1.0%
4 全く大切ではない	0人	0.0%
5 わからない	1人	1.0%



問5 あなたは、市が行っている文化事業を知っていますか。次の中から知っているものを全て選んでください。

回答者数 100人

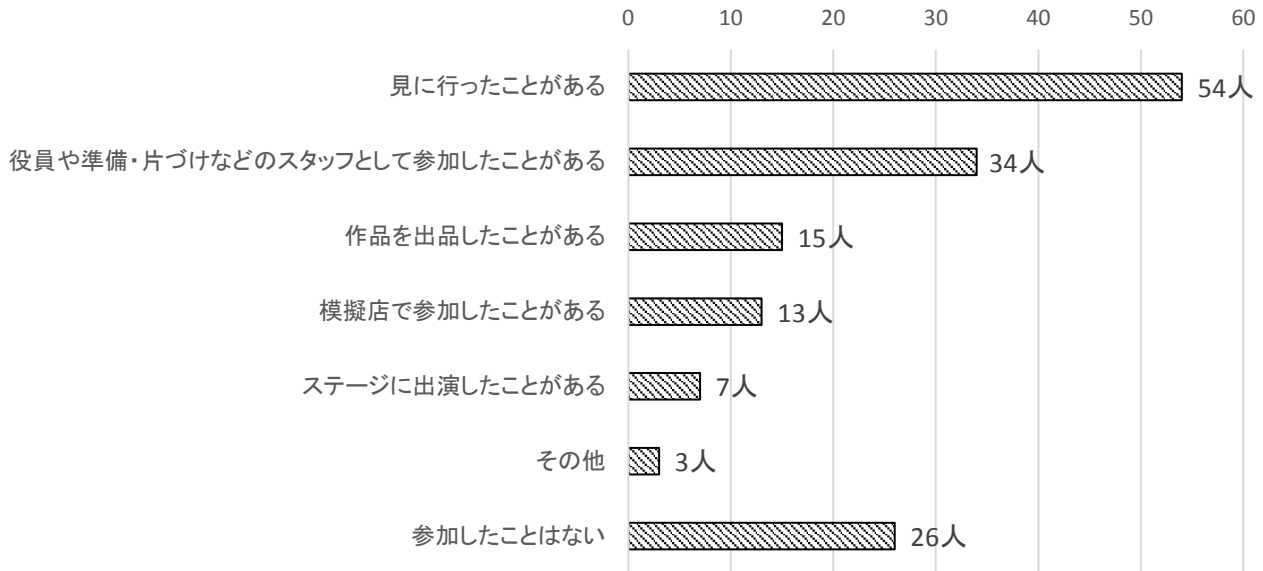
2 富士市展(絵画・彫刻・書道・写真・工芸など)の開催	74人	74.0%
4 地区文化祭の開催	74人	74.0%
3 富士市総合文化祭の開催	43人	43.0%
1 富士市教育文化スポーツ奨励賞の表彰制度	32人	32.0%
5 富士芸術祭の開催	29人	29.0%
10 市民歴史講座の開催	23人	23.0%
6 「ふじ市民文芸」の発刊	22人	22.0%
11 市民文化財めぐりの開催	21人	21.0%
7 文芸講座の開催	18人	18.0%
8 子ども向け芸術講座の開催	16人	16.0%
12 ふるさと芸能祭の開催	15人	15.0%
9 文化振興基金による文化活動への助成制度	8人	8.0%
13 その他	0人	0.0%
14 全て知らない	8人	8.0%



問6 あなたは、毎年10月から11月までに各地区のまちづくりセンターなどを会場に開催される「地区文化祭」に参加したことがありますか。次の中から当てはまるものを全て選んでください。

回答者数 100人

5 見に行ったことがある	54人	54.0%
4 役員や準備・片づけなどのスタッフとして参加したことがある	34人	34.0%
1 作品を出品したことがある	15人	15.0%
3 模擬店で参加したことがある	13人	13.0%
2 ステージに出演したことがある	7人	7.0%
6 その他	3人	3.0%
7 参加したことはない	26人	26.0%



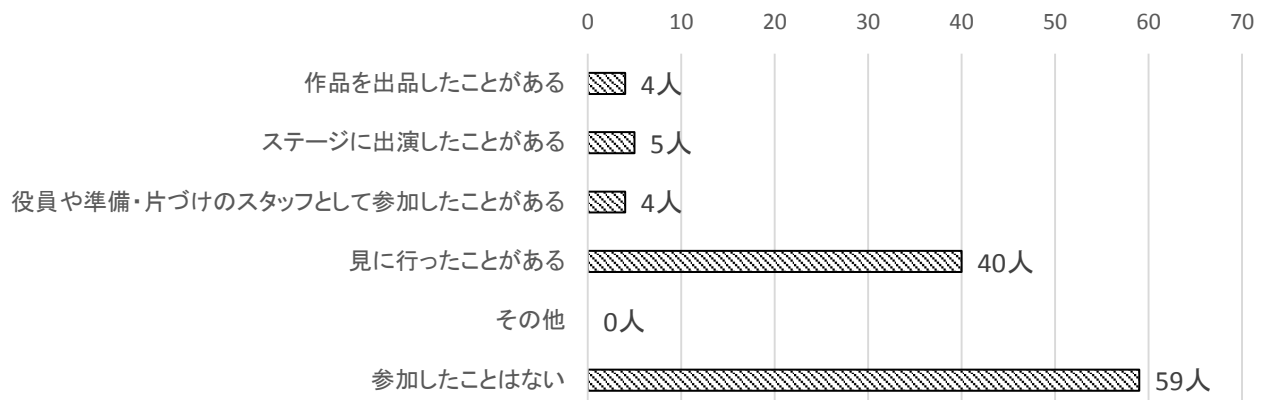
●その他

- ・ 母が作品を出品した
- ・ 娘が中学で演奏をしに行った。せっかく開催されているのに、自分の地区以外の日程が入ってこないのが残念
インターネット上など、気軽に情報が取れると訪れる人もふえると思う
- ・ 子どもの作品を見たり、ミニマラソンで子どもの走りに並走したりした

問7 あなたは、ロゼシアターや富士川ふれあいホールなどで毎年開催される「富士市総合文化祭」に参加したことがありますか。次の中から当てはまるものを全て選んでください。

回答者数 100人

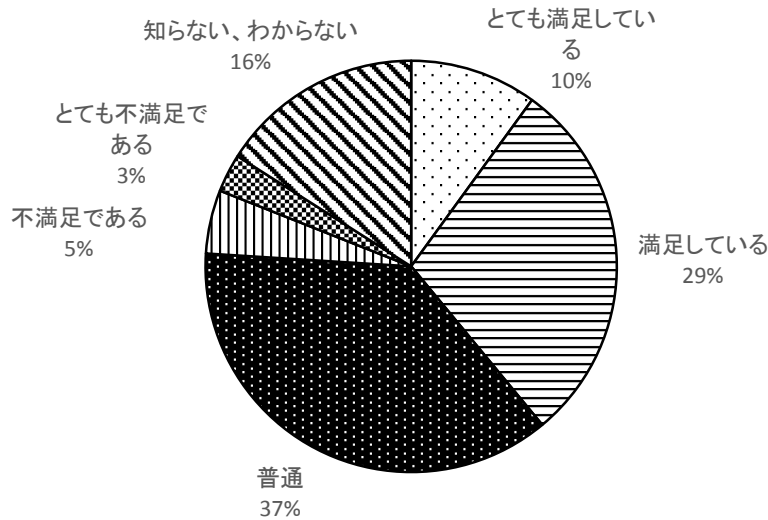
1 作品を出品したことがある	4人	4.0%
2 ステージに出演したことがある	5人	5.0%
3 役員や準備・片づけのスタッフとして参加したことがある	4人	4.0%
4 見に行ったことがある	40人	40.0%
5 その他	0人	0.0%
6 参加したことはない	59人	59.0%



問8 あなたは、ロゼシアターで開催されているコンサートや演劇などの文化事業についてどう思いますか。
次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 100人

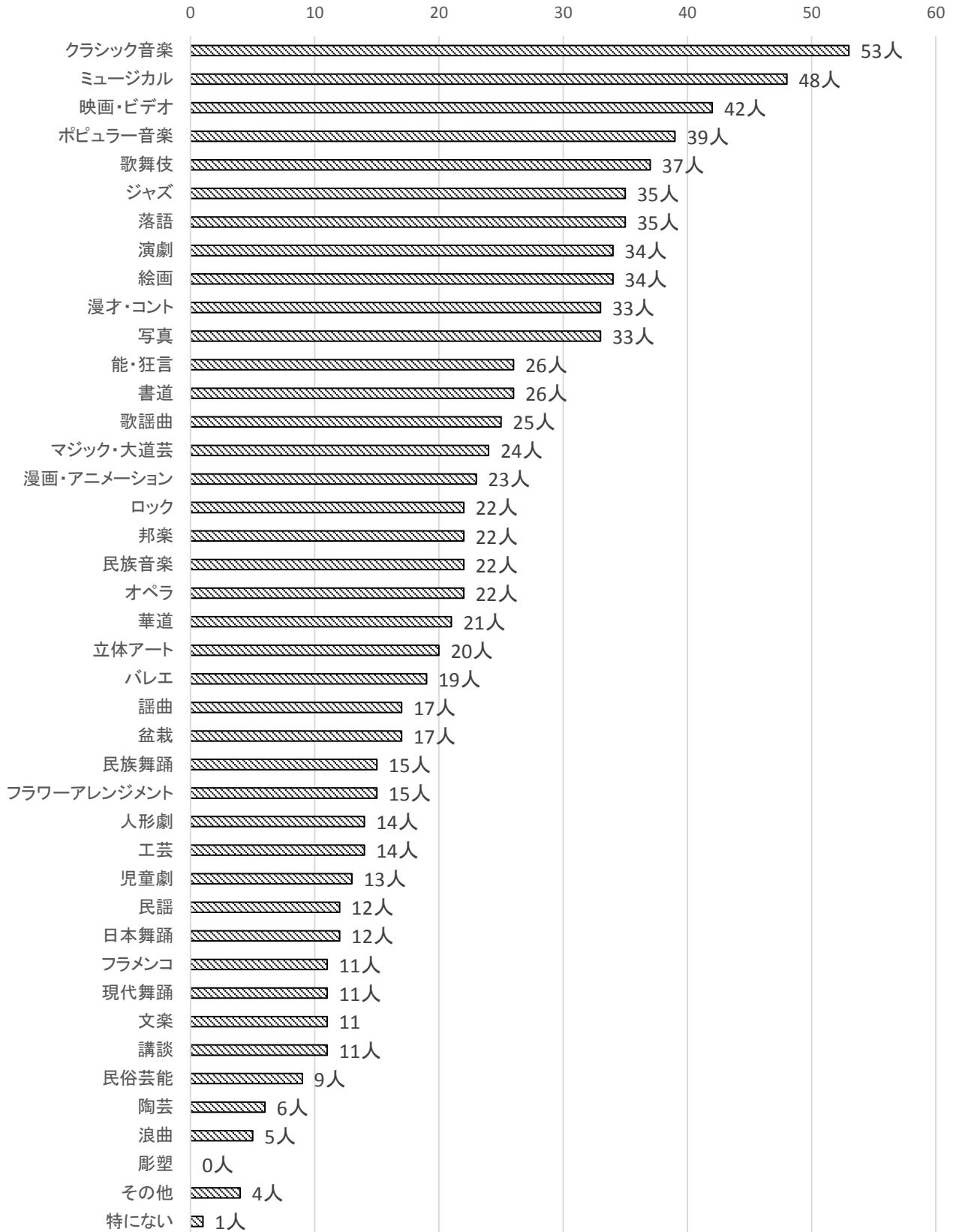
1 とても満足している	10人	10.0%
2 満足している	29人	29.0%
3 普通	37人	37.0%
4 不満足である	5人	5.0%
5 とても不満足である	3人	3.0%
6 知らない、わからない	16人	16.0%



問9 あなたは、どのような文化芸術を鑑賞したいと思いますか。次の中から当てはまるものを全て選んでください。

回答者数 100人

1 クラシック音楽	53人	53.0%	32 立体アート	20人	20.0%
11 ミュージカル	48人	48.0%	14 バレエ	19人	19.0%
39 映画・ビデオ	42人	42.0%	22 謡曲	17人	17.0%
2 ポピュラー音楽	39人	39.0%	38 盆栽	17人	17.0%
19 歌舞伎	37人	37.0%	18 民族舞踊	15人	15.0%
4 ジャズ	35人	35.0%	37 フラワーアレンジメント	15人	15.0%
24 落語	35人	35.0%	12 人形劇	14人	14.0%
9 演劇	34人	34.0%	34 工芸	14人	14.0%
29 絵画	34人	34.0%	13 児童劇	13人	13.0%
25 漫才・コント	33人	33.0%	7 民謡	12人	12.0%
35 写真	33人	33.0%	16 日本舞踊	12人	12.0%
20 能・狂言	26人	26.0%	15 フラメンコ	11人	11.0%
30 書道	26人	26.0%	17 現代舞踊	11人	11.0%
3 歌謡曲	25人	25.0%	21 文楽	11人	11.0%
28 マジック・大道芸	24人	24.0%	27 講談	11人	11.0%
40 漫画・アニメーション	23人	23.0%	23 民俗芸能	9人	9.0%
5 ロック	22人	22.0%	33 陶芸	6人	6.0%
6 邦楽	22人	22.0%	26 浪曲	5人	5.0%
8 民族音楽	22人	22.0%	31 彫塑	0人	0.0%
10 オペラ	22人	22.0%	41 その他	4人	4.0%
36 華道	21人	21.0%	42 特にない	1人	1.0%



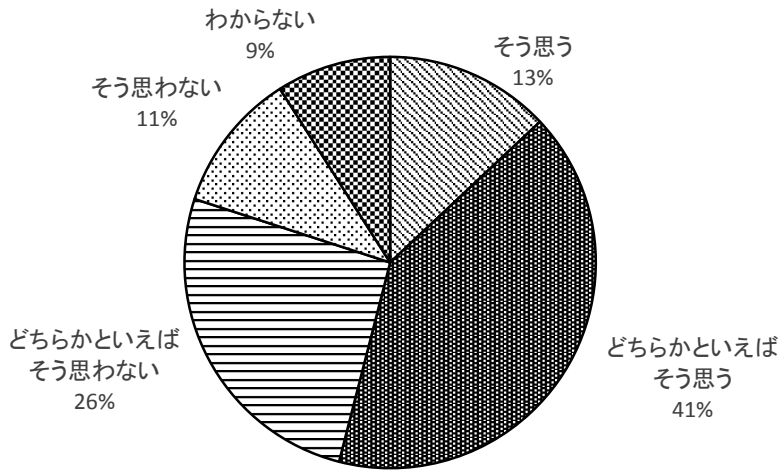
●その他

- ・アニメなどのキャラクターショーや劇
- ・サーカス
- ・サルサ
- ・定期的に、「地域にゆかりがあり、活躍している人の作品や芸能」が、見るほうには手ごろな価格で、提供するほうには援助になるような形で見ることができると、文化を楽しむ力、文化をつくりあげて行く力になってよいと思う。提供する側を決して消費しないで、協働で文化をつくりあげていくのが大切だと思う。アイデアとしては、バラまきではなく、例えば「協働枠として、ロゼシアターの利用料金が減免され、演じた人に少し利益が発生するような形での開催をする」などの方法をとることが「さらに協力する気持ち」と「技術を磨く力」になっていくと思う

問10 あなたは、富士市が文化的環境に恵まれた都市だと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 100人

1	そう思う	13人	13.0%
2	どちらかといえばそう思う	41人	41.0%
3	どちらかといえばそう思わない	26人	26.0%
4	そう思わない	11人	11.0%
5	わからない	9人	9.0%



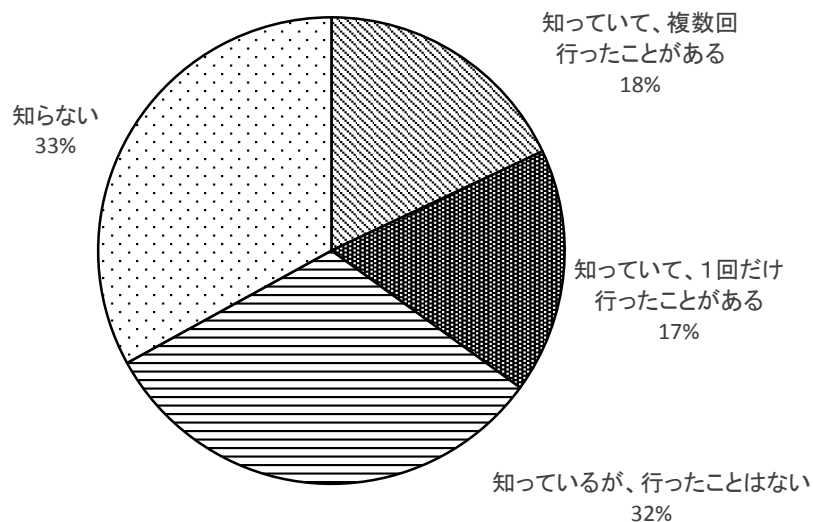
■2 ふじ・紙のアートミュージアムについて

※ふじ・紙のアートミュージアムは、産業としての紙に加え、芸術・文化の面からも「日本一の紙のまち 富士市」をPRするため、紙のアートに特化した全国初のミュージアムとして平成28年11月1日にロゼシアター内に開館しました。

問11 あなたは、「ふじ・紙のアートミュージアム」を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 100人

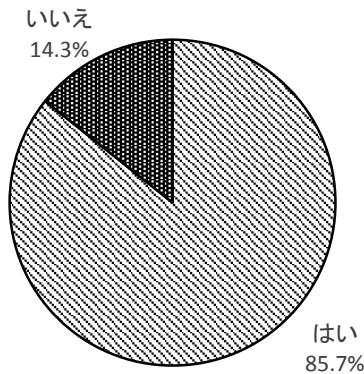
1	知っていて、複数回行ったことがある	18人	18.0%
2	知っていて、1回だけ行ったことがある	17人	17.0%
3	知っているが、行ったことはない	32人	32.0%
4	知らない	33人	33.0%



問11で「1 知っていて、複数回行ったことがある」「2 知っていて、1回だけ行ったことがある」と答えた方に伺います。
問12 あなたは、「ふじ・紙のアートミュージアム」に、また行きたいですか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 35人

1 はい	30人	85.7%
2 いいえ	5人	14.3%



●「1 はい」を選んだ理由

- ・いろいろな人の作品が心地よいから
- ・毎回いろいろな作品が見られるから
- ・先日外から通りがけに見た際にとってもきれいな展示が目に入ったから
- ・紙のまち・富士市だから
- ・紙のまち富士市をPRする一番の手段として最良な方法と思うから
- ・夫の会社が参加しているから
- ・富士市のPRとして大切な行事だから
- ・展示品が定期的に変わるのであれば行きたいと思うから
- ・子どもが絵画教室へ通っていて、興味があるから
- ・富士市らしいから
- ・友人の子どもの夏休みの宿題を手伝っていたとき、何かヒントを得たいと考えたから
- ・他では余り見る機会がないから
- ・富士市の産業に誇りが持てるから
- ・紙での作品がいろいろとあって何にでも変われる魅力があることを知ることができたから
- ・紙のアートとしてのよさや紙の素材の可能性を楽しみにしているから
- ・製作者に直接お会いできて制作の意図や工程上の苦労話を聞く機会があり、なるほどと感銘を受けたから。すばらしい作品にはそれなりの苦労と緻密な計画、そして見る者への計算された演出がたまらない
- ・生で見てすばらしさが分かるから
- ・無料で気軽に楽しめるから
- ・作品のできばえがすばらしい。自分ではできないが、見るのは楽しい
- ・知り合いが運営してるから
- ・ふだん接することのないイベントなのでまた行きたい
- ・美しかったから
- ・企画展は時期ごと変わるから
- ・製紙の富士市にふさわしいから
- ・紙を使用した芸術に感銘したから。また、違う内容を展示したときは行きたい
- ・紙のまちの技術や歴史、新たな発見を楽しみにしているから。富士市のよさ、すごさを実感できるから
- ・展示や講座がおもしろそうだから。ただ、展示スペースは、小さいと感じた
- ・子どもが結構楽しんでいるから。その他の情報を知ることができるから

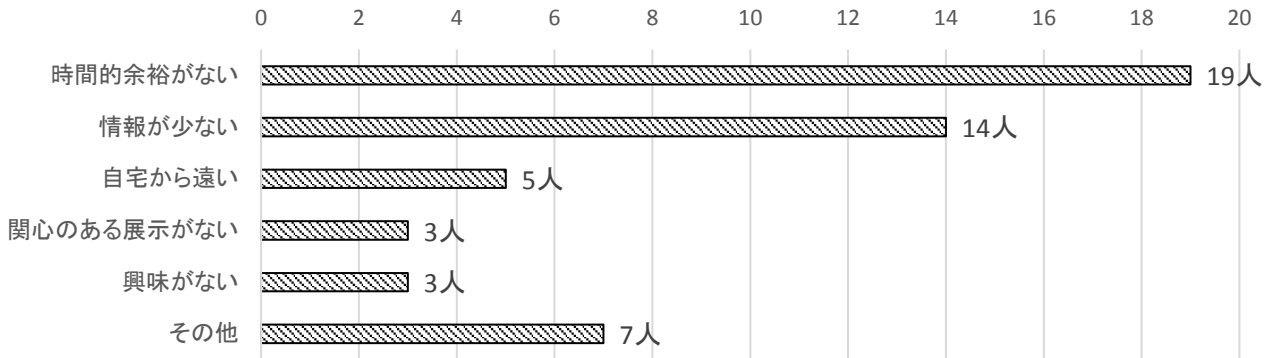
●「2 いいえ」を選んだ理由

- ・興味を引く内容ではなかったから
- ・展示作品が市民感覚から離れているから
- ・不便な場所だから
- ・ロゼの駐車場が混んでいてとめられないから。ミュージアムの入口の雰囲気が入りづらいから。わざわざそのためだけにロゼに行こうとは思わないから
- ・作品の入れかえが少ないから

問11で「3 知っているが、行ったことはない」と答えた方に伺います。
問13 その理由を次の中から全て選んでください。

回答者数 51人

3 時間的余裕がない	19人	37.3%
2 情報が少ない	14人	27.5%
5 自宅から遠い	5人	9.8%
1 関心のある展示がない	3人	5.9%
4 興味がない	3人	5.9%
6 その他	7人	13.7%



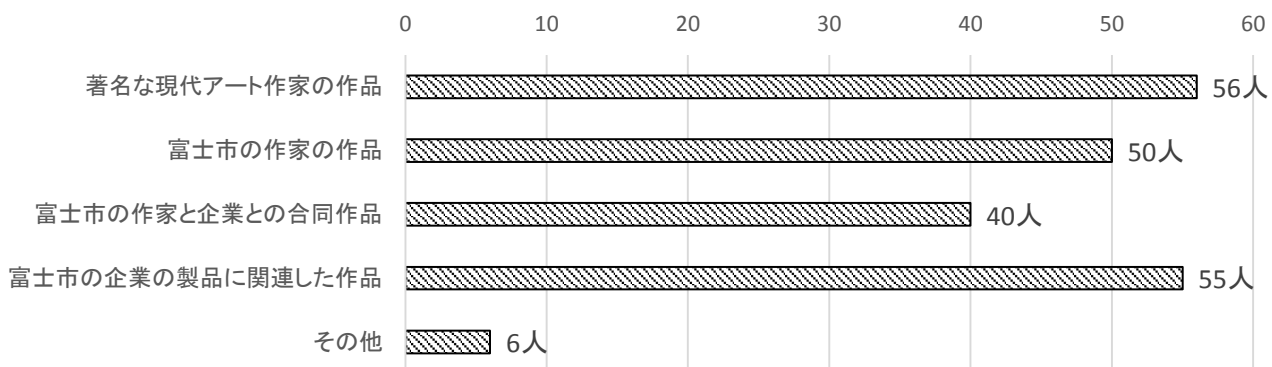
●その他

- ・ 場所がわかりにくいから
- ・ 生活に困っているから。交通手段が困るから
- ・ 場所を知らないから
- ・ 行った日が閉館日だったから
- ・ 子どもが大きくなってしまったので、一緒に行くことができないから。日々のあれこれに忙殺され、つい行きそびれている
- ・ 子どもがいて落ち着いて見られないから。紙なので、子どもが壊してしまったら怖いから

問14 あなたは、この施設でどのような作品を鑑賞したいですか。次の中から全て選んでください。

回答者数 100人

1 著名な現代アート作家の作品	56人	56.0%
2 富士市の作家の作品	50人	50.0%
3 富士市の作家と企業との合同作品	40人	40.0%
4 富士市の企業の製品に関連した作品	55人	55.0%
5 その他	6人	6.0%



●その他

- ・ 中学や高校の文化祭
- ・ 市民(一般)から募集した作品など。子どもの発案した作品など
- ・ 一般市民や子どもたちの作品
- ・ 紙博 in tokyo のような催しが開催されることを期待している。出展者を確認したところ、デザイン/メーカー/文具/活版/イラスト/紙(素材)/ヴィンテージ/印刷加工と、この分野の奥行きの高さを感じた
- ・ そもそも「紙」と「アート」の関連性の理解しにくく、何か創造的な期待を求めるような好奇心を持ちにくい
- ・ 特に見たくない

問 15 地域の文化振興及び市民文化の向上について、ご意見やご提案がありましたら自由に記入してください。

- 富士市の未来を担う人材の育成のために、真の教養とは何か、文化とは何かということを学校の活動でも教えてほしい。私が市内の小学校・中学校に通っていたときも、芸術鑑賞の時間はたくさんあり、そのことに今感謝の気持ちでいっぱいである。ただ、もう少し鑑賞する時に作品の歴史的背景など、美術史の知識があるとよかったのかなと思う。私は「アートは見るものではなく読むものだ」という木村泰司さんの言葉を知り、アートに込められた深い文脈やメッセージを読むことの重要性を知った。以上を踏まえたうえでの私の提案は、学校での芸術鑑賞会を1日単発のイベントとして行うのではなく、図工・美術の時間内での事前・事後の勉強会と合わせて行うことだ。芸術鑑賞会は単発のイベントだと「おもしろかったね」で終わってしまうことが多かったので、事前・事後の学習を通じて文化的活動の意味について考える機会があるとよいと思う。また芸術や文化は一見難しそうなイメージがあるが、大学で美術を学んだ人や現場で活躍されている方から優しく教わる機会があってもよいのかなと思う。それから、別件だが、山口周氏のような、アート×ビジネスという軸で活躍されている方の講演がロゼシアターであったら行きたい。(10代男性)
- 住民税をもう少し安くすれば、富士市の人口がふえ、文化面でも盛んになると思う。(30代男性)
- 文化振興は学校教育の中で子どもに習わせる事で浸透すると思う。例えば、施設などにお金をかけるように学校教育の中で文化振興の予算をふやし、子どものうちから文化がそばにあるようにするとよいと思う。(40代男性)
- 富士山を生かした行事を積極的にしてほしい。富士市からの富士山が一番きれいだと思うので、もっと各事業で強くアピールしてほしい(40代男性)
- 5月5日ロゼシアターで「イーちゃんの白い杖」を見た。とてもよい上映会だった。富士市全体からすれば参加できたのはほんの一部だ。もっとたくさんの人たちに見ていただける機会を設けてほしい。(40代男性)
- 文化振興については大学進学率も関係していると思うので、大人も参加できる大学進学のための無料塾をつくってほしい。(50代男性)
- 富士市にも他の都市にないインパクトのある文化的なものがあればいいと思う。(50代男性)
- 催しをふやしてほしい。(50代男性)
- 地区ごとの自治会内で文化活動が活発になれば富士市としても盛り上がると思う。(50代男性)
- 地域の振興のためにやるのはよいが、地域の文化祭は強制参加の部分もあり、本来の目的に沿っているかは不明だと思う。(50代男性)
- かなり以前のことになるが、焼津文化センターがびっくりするようなアーティストを呼ぶことで注目されたことがあるが、普通、文化に対する民度は行政の押しつけで上がるものではないと思う。残念ながら富士市民の文化レベルは静岡県内でも低いと感じており、これは富士市が工業都市であることや、高等教育施設も限られており文化を牽引してくれる若者が少ないことと無縁ではないように思う。富士の顔ともいえるJR富士駅の周辺には文化の香りすら感じられない。それでも文化の日に休館だった図書館が最近では開館されるようになっただけでも前進だろうか。(60代男性)
- 広報ふじや図書館でのチラシなどで、ロゼシアターや地元の交流センターなどでの多種多様な文化振興事業の開催案内をよく拝見する。退職して1年経過したが、関心あるものには富士市内に限らず参加するようにしている。(60代男性)
- 市民がもっと気軽に文化に親しめるようにする。例えば、博物館や美術館等の入場無料券(年4~5回分)を市広報に印刷するとか、ロゼで開催する自主文化事業への参加料に市が補助するとか。(60代男性)

- ▶ 富士市民は文化振興や市民文化にあまり興味がないように私は感じている。関連行事も一部の人のみ（主催者側）が知っているだけで、多くの人たちはいかがかと思う。ポスター、広報ふじなどで開催連絡をしているが、自分自身もいつ、どこで開催するのか明確に記憶していない。もし可能であるならば、マスメディア、SNSなどを大いに活用し、若い世代に活動範囲を広げ、主体性を持って今後も頑張ってもらいたいと思う。（60代男性）
- ▶ 市の財政が今後減少する傾向の中で、今までのような網羅的な文化事業について見直すべき時期かと思う。つまり文化事業において「選択と集中」を進めて、富士市として文化事業として何に注力すべきか検討し、「富士市の文化といえば・・・〇〇〇」と県内外に認知される文化事業の育成・強化を図ってほしいと思う。（たとえば、浜松：楽器のまち・・・新進ピアニスト登竜門の国際ピアノコンクールなど）一方、各地域で地元の方が行う文化祭・文化事業は、市民としての参画の意義もあり、継続して支援は続けてほしいと思う。（60代男性）
- ▶ 展示会などの開催予定の発表をもっと多くする（60代男性）
- ▶ 文化施設は市内各所にあるが、あまりにも分散し過ぎて、どこで何をやっているか分からない（私の認識不足かも知れないが）。
先日（6月）市より総合体育館整備基本計画が発表されたが、これも長い間市に働きかけた面もあったと思う。これからは、ロゼシアターに次ぐ拠点施設ができることを要望する。それには一刻も早く富士市文化連盟と富士川文化協会が一つになることだと思う。（70代男性）
- ▶ 高齢者の文化活動への参加比率が今後高まっていくと思われ、これに即したメニューの企画が求められる。同時に会場までの交通の利便性も大幅に向上させることが必須だ（免許返納も増加していきそう）。（70代男性）
- ▶ スポーツミュージアムを考えてほしい。オリンピックの水泳、陸上、野球のプロ野球、社会人、高校など富士市から多くのアスリートが輩出されており、借用できれば、展示品には事欠かないと思う。百聞は一見にしかずで子どもたちへの大きな夢となると思う。（70代男性）
- ▶ 富士市は体育関係が盛んであると言われている。伝統芸能を維持、育成していきたい。例えば、詩吟、民謡、俳句、弓道など（70代男性）
- ▶ 各地区、団体で特色があり、今日まで文化の継続継承がされていると思うが、もう少し地域を生かした底辺の拡大ができればよいなと思っている。（70代男性）
- ▶ 伝統的に行われている地域の芸能は今後も支援してほしいと願っている。また現在行われている市民文化の発表する機会を継続拡大して行ってほしいと希望する。そのためには、市職員も地域芸能や市民文化の一翼を担っていくことが大切だと考える。（70代男性）
- ▶ 秋に開催されるまちづくりセンターの文化祭は各地域に根差した特色あるものが多い中、すばらしい作品が出品されていて目をみはるものがある反面、相変わらずの並べただけの文化祭もある。企画立案段階で地域住民が参画し、過去にとらわれない形態で実施していただきたいと思う。（70代男性）
- ▶ 富士市の場合、文化活動というとロゼが拠点になることが多いと思う。市に26あるまちづくりセンターを今以上に活用し、地域の人が今以上に利用することを望む。
まちづくりセンターでは今もいろいろな文化活動をしているが、限られた人達だ。身近なまちづくりセンターをもっと広くPRし、利用してもらうことが望ましいと考える。（80代男性）
- ▶ 地域の文化振興及び市民文化の向上については、関心はあるが、今現在の私の生活にはあまりかかわっていないというのが現状だ。子育て中のため、時間がないということと、情報も十分ではないからだと思う。ふじ・紙のアートミュージアムについては、知ってはいたがロゼシアター内にある事は認識していなかったので、（私の周りの主婦の方々には知らなかった人が多い）一度行ってみたいと思うが、もっと子どもが興味を引かれるものがあるとよい。（30代女性）

- ▶ バラ苗の配布イベントが頻繁に行われていてすてきなことだと思っている。また、市に関わる工芸や産物を生かしたワークショップなどが行われていれば参加してみたいと思う。また、文化的なイベントの情報をもっと目にする機会がふえるとよいと思う。現状では富士ニュースなどを読まないとなかなか情報を目にする機会が少なく、催しが知らないうちに終わっていることがあるので、それが改善されたらよりよくなるのではないかと思う。(30代女性)
- ▶ 今回アンケートに回答する内容はなんとなく聞いたことはあるがよくわからないというものが多かった(現在行われている文化事業についても、ふじ・紙のアートミュージアムについても)。そのことから、どう市民にPRするかが大切だと思う。ロゼシアターに何かの予定で寄ったとしても、そこでいつ何が催されているかを余り知らない。好きなアーティストが来るなどの明確な目的がない限り、若者は見ない気がする。月ごとのロゼシアターの予定表を(ロゼシアターでは見たことあるのだが)宣伝のための印刷物として目のふれるところに(ロゼシアター以外で)設置するのもありだと思う(やっていたら知らずにすみません)。(30代女性)
- ▶ 富士市の文化情報に興味があるが、情報を得る手段がない。新聞は取っていないし、テレビのローカル番組も見ない。広報ふじは子どもの写真が多いため読めない(不妊治療中のため子どもの写真を見るとつらくなるため)。文化活動の発信先が子どもや高齢者ばかりを焦点にしていないか。富士市は若者の流出が激しいが、市が若い世代をないがしろにしている側面もあるかと日々感じている。若者の車離れが進む中、新富士駅と富士駅・吉原駅、またバス駅の中央駅へのそれぞれのアクセスが非常に悪いことが大きな要因ではないだろうか。この先10年・20年を考えたとき、若者にとって魅力のないまちになっていないだろうか。今一度、若者への情報発信と市の発展を考えていただければと切に願っている。(30代女性)
- ▶ もっとたくさん場所で紙にふれあえる楽しさを伝えてほしい。まちづくりセンターなどでできたらいいのだが。(30代女性)
- ▶ もう少し、学校の部活動の種類がふえるとよいと思った。自分がいた市外の学校は、部活がたくさんあり、選択肢が多いのがとても魅力で、文化祭では、自分の将来の夢を描いたり自分が興味なかったことに魅力を感じる出会いが沢山あったりしてすごくなったので、やはり、文化を育てるには、一番長い時間を過ごす、義務教育期間が一番よいのでは、と私は思う。(30代女性)
- ▶ 富士市は文化的なものが少ないよねー、という話題が何度か挙がった。そういう会話が成り立つということは、文化的なことに興味の高い人が少なからずいるということだと思う。文化的なものが少ないと感じる理由としては、映画館がない、美術館がない、などが挙がっていたと思う。ただ、地域のイベントを見渡してみるとアート系イベントなど非常におもしろいものが多く、感度の高い人も多い気がする。そういった活動がもっと知られていくとよいと思う。そういったことを生かしてまちとしての文化的な面をつくりあげていくとよいと思う。文化的な物に興味がある人とない人の差が大きいとも感じる。それは、埋めるべき差なのか、それもまちとしての個性として捉えるべきなのか?個人的には文化的なものに興味の高い人が多く、活動も活発なまちに住みたいと思う。(30代女性)
- ▶ スーパーにポスターやお知らせを貼り出せば、もっと認知してもらえと思う。(30代女性)
- ▶ 大阪から来たが、富士市は市民レベルの文化活動が非常に盛んな印象がある。まだ子どもが小さいので、なかなか参加できないものも多いが、子どもたちの成長過程においても非常に重要な事だと感じている。もっと子どもたちが参加しやすいものがたくさんあればと思う。どんどん協力するので子育て世代の意見もとり入れてほしい。(30代女性)
- ▶ 小さな子どものうちから、文化活動に親しめるイベントをもっとふやしていただけたら、市民文化向上につながるのではないかと思う。小さな子どもが参加しやすい環境(おむつがえスペースや授乳室の設置など)を整えたイベントにしていただけたら参加しやすいと思う。

また、子育て中の人向けに、託児つきのイベント（文化体験などのイベント、音楽・演劇等の芸術鑑賞）があれば、子育て中の人々の市民文化向上、またリフレッシュにもなりよいのではないかと思う。

（30代女性）

- 文化的なことに熱心な市だと感じている。これからも安価でよい作品を見たいと思う。（40代女性）
- ロゼシアターの稼働率（特に大ホール）をもっと上げてもいいのでは。東京でなくては見られないような著名な人のコンサートをぜひ見たい。また講演も聞きたいと思う。

「ふじ・紙のミュージアム」はなんとなく聞いたこともあり、ロゼシアターに行くこともあるが見たことはない。意識していないせいもあるが、もっと分かりやすく宣伝してもいいのかもしれない。折り紙などのワークショップをやると、もっとこの場所の存在をもっと知ってもらえるかもしれない。博物館のお知らせはあるが、市のさまざまな文化事業を広報にも1つの枠に載せるともっと知ってもらえるかもしれない（今月のロゼの催し…とか）。（40代女性）

- すばらしいと思う。市民が参加しやすいよう、より情報発信などをしてほしい。（40代女性）
- 文化というものにあまり関心がなく、興味がないので情報で知っていても行くまでにはならない。子どもが小さい時は役員や習いごとをやっていたので、子どもの作品を見るついでに見る感じだった。

（40代女性）

- ロゼシアターはとてもすばらしい施設なのにあまり活用されておらず残念。駅からのアクセスも改善する必要があると思う。地域の活動にも積極的に利用できるとよい。隣接する中央公園をもっと文化的な施設の融合としてはどうか（図書館や博物館や音楽の施設など）。（40代女性）
- まちづくりセンターの講座や、市主催の体験会や短期間の講座を企画して、まずはさまざまな文化にふれる機会をふやして行ってほしいと思う。いろんなことを体験して、その中から特に興味を持ち、さらに知識や技術などを磨きたいと思えばよいかと。きっかけづくりの場を提供していただければよいと思う。

（40代女性）

- もっとイベントとして楽しめるように、積極的に広報などで知らせてほしいと思う。あまりかた苦しいと、高齢者向けかな？という気がして、もう少しポップに、子どもたちがおもしろそうと思う雰囲気にしていただければ、子どもを通じて大人も参加しやすくなるかな？と思う。また文化的な表彰制度をもっと柔軟に広げて、誰もが表彰を受けられるチャンスがあるような楽しさがあったらいいかな？と。

ロゼ周辺の交通量に伴った駐車場整備は急務だと思う。駅から離れているので、車で行く人の方が多く、また周辺に有料駐車場も案内もないため、市外から来られた方は途方に暮れている。（40代女性）

- 観賞することだけでなく、参加できるような機会がふえればよいと思う。（40代女性）
- 文化向上は自然にできるような感じがいいかなと感じている。（40代女性）
- イマドキの若者も、主婦層も結構皆さんスマホで検索して情報を得ることが多い世の中である。情報はあふれかえっている。とある先生のお話では、現代人が一日で受け取る情報量は、平安時代の人的一生分だ。と、伺った。そんな中で、情報が探しにくかったり載っていなかったりしたら、その時点で興味は薄れ、関心はなくなっていってしまう。富士市はとても頑張っているのに、PRが足りず、知られていないことも多いのではと考える。富士市のウェブサイトは実用的な面と、文化やエンタメ的な富士じかに分かれていてとてもすてきだと思うので、富士じかんをもっと充実させて活用して、さくっと開催中の演目や展示を検索できるようにするのが一番の振興の方法だと思う。

また、それと同時に、市民の自発的な「生活を、世の中をよくしよう」という文化的活動について、きり交流会議の「女性聞き書きの会」のように、人々の努力や営みの歴史もまた、どこか片隅に載せておいていただき、検索できるようにしておいていただくことが、富士市の自慢の一つとして次世代を担う子どもたちにも「私たちだってきちんとしなくては。考えなくては」と思う一助になると思う。

(40代女性)

- 開催されているコンサートや演劇などの情報が届きやすい方法をもう少し考えてほしい。地域のまちづくりセンターでは年1回の文化祭ですが、オリンピックみたいに、数年に1回合同文化祭のようなものもあってよいかもしれない。市全体でなくても、中学校区ごとで開催するもよいかと思う。(40代女性)
- 市内に映画館がほしい。またはロゼシアターやラ・ホール富士などに、映画上映の機能を持たせてほしい。

(50代女性)

- 特になし。自分自身、知らないことが多過ぎた。アンテナをはらないといけないと気づいた。(50代女性)
- 私は大の落語ファンで、立川談春師匠の追っかけとして、2010年から、全国のさまざまな会場に行っている。ロゼシアター中ホールで、談春師匠の落語会が行われた際、とてもレベルの高い施設であると口にされていましたが、もっと、落語会の回数がふえるといいなあ、と心から期待をしている。(50代女性)
- ロゼシアターの駐車場が、イベントが重なるといっばいになってしまっていて大変だ。富士駅を市の入り口としてもっと整備して、市内の様子がよくわかるようだとよいと思う。(50代女性)
- 学校のPRや生涯学習講座での紹介など活動的な人々への働きかけが重要だと思っている。富士山かぐや姫ミュージアムもリニューアルしてとてもよいのに(しかも無料)知名度が低く、利用者がふえないのがとても残念に思う。(50代女性)
- ロゼシアターの催しのチラシを見て、「狂言」や「歌舞伎」「ミュージカル」などを見に行きたいと考える、そこが市民文化の向上につながると思う。反対に「日本一の紙のまち富士市」=ふじ・紙のアートミュージアムって何?知らない?どこにあるの?と私は思った。

市民ひとりひとりが「知ることができること」が向上につながると思っている。(50代女性)

- この度モニターアンケートでとり上げられていたので、紙のミュージアムを訪れてみた。富士ニュースの一面に掲載されていたこともあってか、お客さんが次々訪れていた。受付の方とお話することができ、リピーターさんも多いとのこと。富士の紙産業、紙文化のためにさまざまな努力をされていることを初めて知った。そして思ったことは、ミュージアムが1階の奥にあり、駐車場からロゼを訪れた人々の目的地から外れているので、館内のどこか目立つ所にミュージアムの存在がわかりやすい目印があるとよいと思う。また、ミュージアムの向かい側の休憩場所を簡易カフェや子どもの遊び場にして、人の流れが1階の奥にもできるようになると、入ってみようと思えるのではないだろうか。

そのほか、以前催した“のど自慢”や“お宝鑑定団”のように市民になじみのある催しは、市民を巻き込んで盛り上がりとてもよかったと思う。今、テレビで話題の夏井いつき先生の俳句大会が開催されたらとても楽しみだ。(50代女性)

- 富士山がきれいに見えるまちとして、さまざまな人が訪れるような富士市にしてほしいと思うが、富士駅を降りても、本町通りのようにシャッター通りでは、とても無理な感じがする。本格的なテコ入れを期待する。(50代女性)
- 私は料理や囲碁が好きだが、まちづくりセンターでしてくれる講座に満足している。今はインターネットなどで文化にもふれられるし、図書館活動にも満足している。現状のままでよいのでは?(50代女性)
- 吉永地区では大龍の舞や太鼓などの郷土芸能を受け継いで文化祭や祭りで披露している。多くの発表の場を設け今後も若い世代に継承してほしいと思う。成功者の本を読んだり講義を聞いたりすると意欲が湧くので、そういう機会があるとよいと思う。(50代女性)
- もう少しなじみがあって、敷居の低いもの。食べ物の提供や無料のものがあると、出かけてみたくなると思う。(50代女性)
- 今のところ満足している。(60代女性)
- 図書館が長く開いているのはよいが、本が新しいと読みたい気持ちになる。新しい本を図書館に入れていただき紹介してほしい。(60代女性)

- まだ、よくわからないので意見は控えるが、紙の作品を子どもたちや高齢者の方に作品づくりの機会をもっと多く提供したらよいと思う。(60代女性)
- 富士市には各地域団体に太鼓があるが、これらを一堂に会して演じてほしい。(70代女性)